



新たなニーズに選ばれる地域へ
～ アフターコロナに対応した三遠南信地域の高付加価値化 ～

主催 : 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)

共催 : 三遠南信地域経済開発協議会

後援 : 農林水産省、経済産業省、国土交通省

本年度の三遠南信サミットは、分科会については 10 月にオンライン配信により、全体会については 11 月 4 日（木）に会場参集とオンライン配信の併用により開催した。

1. 事業名

第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河

2. テーマ

新たなニーズに選ばれる地域へ

～ アフターコロナに対応した三遠南信地域の高付加価値化 ～

3. 開催形態

- ・全体会 … 会場への参集とサミット特設サイトからオンライン配信の併用
- ・分科会 … サミット特設サイトからオンライン配信

※サミット特設サイト <https://www.sena-vision.jp/sena/summit/no29.html>

4. 主な内容

(1) 全体会 … パネルディスカッション

- ・日時 : 令和 3 年 11 月 4 日（木）14:00～16:30
- ・会場 : 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール（豊橋市西小田原町 123 番地）
- ・内容 : ※P3「全体会詳細」のとおり

(2) 「技」分科会 … 対談

- ・日時 : 令和 3 年 10 月 21 日（木）14:00～15:30
- ・テーマ: 「地域外企業のアイデアを活かした地域課題の解決と地域活性化」
- ・登壇者: 講師 谷中修吾 氏 BBT 大学 経営学部グローバル経営学科 学科長・教授
東博暢 氏 株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門プリンシパル

(3)「風土」分科会 … パネルディスカッション

- ・日時 : 令和3年10月25日(月) 10:00~12:00
- ・テーマ:「道の駅を拠点としたアフターコロナを見据えた観光について」
- ・登壇者:ファシリテーター 戸田敏行氏 愛知大学 地域政策学部 教授
三遠南信地域連携研究センター長
- パネリスト 吉開仁紀氏 道の駅とよはし 副駅長
大石颯氏 道の駅くま水車の里 駅長
岡田敬氏 道の駅南信州とよおかマルシェ 駅長

(4)「住」分科会 … パネルディスカッション

- ・日時 : 令和3年10月27日(水) 14:00~15:30
- ・テーマ:「居住者・移住者双方のニーズに応えられる持続可能な「地域」のあり方」
- ・登壇者:ファシリテーター 高柳俊男氏 法政大学 国際文化学部 教授
- パネリスト 大脇聡氏 NPO 法人てほへ 副理事長
元村妃沙氏 浜松市天竜区水窪協働センター 事務職員
井崎由華氏 伊那市移住・定住コーディネーター
河原俊文氏 三遠南信 Biz 編集長

5. 来場者数及びサミット特設サイトアクセス数

- ・全体会 … 11月4日(木) 来場者数:約200名
11月4日(木) サミット特設サイトアクセス数:322回
- ・「技」分科会 … 10月21日(木) サミット特設サイトアクセス数:90回
- ・「風土」分科会 … 10月25日(月) サミット特設サイトアクセス数:153回
- ・「住」分科会 … 10月27日(水) サミット特設サイトアクセス数:83回

6. その他(関連事業:住民セッション)

住民団体(三遠南信住民ネットワーク協議会)による意見交換

- ・テーマ:「三遠南信地域の魅力創造と情報発信-選ばれる地域になることを目指して-」

※令和3年11月4日(木)からサミット特設サイトにて配信

令和3年11月4日(木) 14:00~16:30
穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
三遠南信地域連携ビジョン推進会議 会長 浜松市長 鈴木康友
3. 開催地代表挨拶
三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 豊橋商工会議所会頭 神野吾郎
4. 来賓挨拶
経済産業省 中部経済産業局 局長 田中耕太郎 氏 (ビデオメッセージ)
国土交通省 中部地方整備局 局長 堀田治 氏 (オンライン出演)
5. パネルディスカッション
「外から見た三遠南信、内から見た三遠南信」
■パネリスト
①：株式会社タスキ 種田憲人 氏
②：「naori なおり®」ファウンダー (創設者) 大岡千紘 氏
③：浜松移住コーディネーター 井上紗由美 氏
④：飯田市 (龍江地区) 地域おこし協力隊 佃賢次 氏
■ファシリテーター
公益社団法人 東三河地域研究センター 調査研究室長 高橋大輔 氏
6. 分科会報告
(1)「技」 BBT 大学 経営学部グローバル経営学科 学科長・教授 谷中修吾 氏
(2)「風土」 愛知大学 地域政策学部 教授 戸田敏行 氏
(3)「住」 法政大学 国際文化学部 教授 高柳俊男 氏 (オンライン出演)
7. サミット宣言
三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 豊橋市長 浅井由崇
8. 次回開催地代表者あいさつ
三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 飯田市長 佐藤健
三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 飯田商工会議所会頭 原勉
9. 閉会

歳入歳出決算

San-En-NanshinSUMMIT

○歳入内訳

(単位：円)

項目	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	説明
1 事業費	4,000,000	2,617,004	
計	4,000,000	2,617,004	

○歳出内訳

(単位：円)

項目	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	説明
1 運營業務委託費	2,000,000	1,266,650	全体会運営・配信
2 会場関係費	500,000	282,300	全体会・分科会会場使用料 会場備品使用料 (ほか)
3 資料関係費	0	0	※報告書(冊子)作成せず
4 住民セッション 関係費	300,000	299,980	企画運營業務委託料、会場費等
5 会議費	10,000	0	※スタッフ説明会未実施
6 事務費	390,000	201,077	旅費、燃料費、郵送費、 消耗品費、振込手数料 (ほか)
7 謝金	800,000	566,997	全体会・分科会登壇者等謝金
計	4,000,000	2,617,004	

第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河 サミット宣言

第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、現地会場とオンライン配信の併用という新たなスタイルでの開催いたしました。

この 1 年半余りの間、世界的なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症は、私たちの社会や日常生活だけでなく、価値観をも大きく変化させました。外出や会食などが制限され、乏しくなった実体験の機会は大変貴重なものとなりました。また、大都市のリスクが顕在化し、テレワークや在宅勤務が常態化する中で、暮らしや働き方が見直され、大都市圏から地方へ移住する傾向が見られています。

このような状況を踏まえ、今回のサミットでは「新たなニーズに選ばれる地域へ ～アフターコロナに対応した三遠南信地域の高付加価値化～」をテーマとし、事前に行われた分科会や本日のパネルディスカッションでは、コロナ禍により変化した新たな価値観にフィットし、選ばれる地域となるよう様々な意見が交わされました。そして、本地域のあらゆる資源が高付加価値化するポテンシャルを有しており、その価値をさらに高め、強く発信することで、地域全体の魅力増進につながることを改めて確認いたしました。

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、県境を越えた広域連携の推進組織として、これまでの絆を一層強化・深化させ、第 2 次三遠南信地域連携ビジョンに掲げる多様な主体による新たな地域連携のプラットフォームの形成を進めるとともに、本地域の付加価値を更に高め、新たなニーズに選ばれる地域へと発展するよう、以下の項目について今後重点的に取り組んでまいります。

1 リニア中央新幹線の開業に伴うスーパー・メガリージョンの形成を期待するとともに三遠南信地域内の自由で円滑な移動を可能にする交通基盤の整備に向け、三遠南信自動車道の早期全線開通をはじめ浜松湖西豊橋道路の早期実現など、引き続き地域一丸となった提言活動を進めます。

2 革新を取り込む産業創造圏の形成に向け、三遠南信地域内の産学官の連携による既存産業の活力増進はもとより、革新的な技術やアイデアを持つ地域外の企業との融合による課題解決型実証実験の誘致・実施により、地域課題の解決、住民のQOLの向上、さらには地域の活性化を図ります。

3 天竜川・豊川の流域文化創造圏の形成に向け、地域資源の新たな価値を見出すとともに、コロナ禍における価値観の変化を好機と捉え、各地域の道の駅などを拠点としたマイクロツーリズムやサイクルツーリズムなど、安全で気軽に快適な三遠南信地域内の周遊型観光への誘客を進めます。

4 三遠南信地域内の様々な資源・人が生み出す魅力を活かした取り組みを通じ、「内」と「外」との交流を活性化することで、地域に担い手を呼び込み、人が人をつなぐ好循環を生み出し、いつまでも住み続けたい持続可能な地域の実現、ひいては安全安心な広域生活圏の形成を目指します。

これらについて、この場を共有する全ての主体が確認し、第29回三遠南信サミット2021 in 東三河のサミット宣言といたします。

令和3年11月4日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

第29回三遠南信サミット2021 in 東三河

◆開催案内 (チラシ)

第29回 三遠南信サミット 2021 in 東三河

新たなニーズに選ばれる地域へ
～アフターコロナに対応した三遠南信地域の高付加価値化～

一般公開 (ライブ配信)

**全体会 令和3年
11月4日(木)
14:00~16:30**

「技」分科会 10月21日(木) 14:00~15:30
「風土」分科会 10月25日(月) 10:00~12:00
「住」分科会 10月27日(水) 14:00~15:30

※詳細は要覧をご覧ください。

サミット特設サイト
QRコード

(主催) 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)
(共催) 三遠南信地域経済開発協議会
(後援) 農林水産省・経済産業省・国土交通省

●サミット特設サイトURL: <https://www.sena-vision.jp/sena/summit/no29.html>

第29回 三遠南信サミット2021 in 東三河

**全体会・分科会
開催 (オンライン配信) 情報 申込不要** どなたでも自由にご視聴いただけます。
各会のURL又はQRコードからご視聴ください。

全体会 パネルディスカッション	令和3年11月4日(木) 14:00~16:30
テーマ 「外から見た三遠南信、内から見た三遠南信」 ファシリテーター: 高橋 大輔 氏 / 公益社団法人 東三河地域研究センター 調査研究委員(専任(学術)) パネリスト: 奥田 博久 氏 / 株式会社システム・代表取締役 CEO 大岡 千鶴 氏 / 「raon」なおり」フアウンダー(創設者) 井上 彰田美 氏 / 浜松移住コーディネーター 田 眞次 氏 / 菊田市(穂7地区)地域おこし協力隊	●全体会スケジュール 14:00 開会・セレモニー 14:30 パネルディスカッション 15:00 分科会報告 16:15 サミット閉会 16:30 退席 QRコード https://www.sena-vision.jp/summit/2021/1104
「技」分科会 次選	令和3年10月21日(木) 14:00~15:30
テーマ 「地域外企業のアイデアを活かした地域課題の解決と地域活性化」 講師: 岡中 肇 氏 / BBT大学 経営学部グローバル経営学 学部長・教授、地域活性化推進部 部長 高橋 大輔 氏 / 株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング 経営プリンシパル	QRコード https://www.sena-vision.jp/summit/2021/1021
「風土」分科会 パネルディスカッション	令和3年10月25日(月) 10:00~12:00
テーマ 「道の駅を拠点としたアフターコロナを見据えた観光について」 ファシリテーター: 内田 毅行 氏 / 愛知大学 地域政策学 教授、三遠南信地域連携研究センター センター長 パネリスト: 島崎 仁紀 氏 / 道の駅およし 副部長 大石 繁 氏 / 道の駅くまのまちの里 副部長 高田 繁 氏 / 道の駅南信州とよおがみ 副部長	QRコード https://www.sena-vision.jp/summit/2021/1025
「住」分科会 パネルディスカッション	令和3年10月27日(水) 14:00~15:30
テーマ 「居住者・移住者双方のニーズに応えられる持続可能な「地域」のあり方」 ファシリテーター: 高野 崇 氏 / 法政大学 国際文化学部 教授 パネリスト: 大橋 聡 氏 / NPO法人てはへん理事(代表)(多岐) 元村 紀沙 氏 / 浜松北支地区がらびおセンター 地域振興G 科長 部長 伊藤 智佳 氏 / 定住コーディネーター 河原 賢文 氏 / 三遠南信協議会 副会長	QRコード https://www.sena-vision.jp/summit/2021/1027
住民セッション	三遠南信住民ネットワーク協議会を中心とした三遠南信地域内の住民団体による意見交換をサミット特設サイトより配信

お問い合わせ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)事務局
〒420-8662 浜松市中央区堀川103-2 浜松市公共施設整備課 TEL:053-457-0242
E-Mail: sena@clear-con.ne.jp URL: <http://mtts.jp/www.sena-vision.jp/>

◆サミット特設サイト

SENA 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 文字サイズ 小 **中** 大

San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision-Progressive-Conference

お問い合わせ | サイトマップ | プライバシーポリシー

ホーム SENA 三遠南信とは 交流・連携事業 三遠南信地域連携ビジョン リンク

ホーム > SENA (三遠南信サミット) > 第29回三遠南信サミット2021 in 東三河 特設サイト

第29回 三遠南信サミット 2021 in 東三河

新たなニーズに選ばれる地域へ
～アフターコロナに対応した三遠南信地域の高付加価値化～

一般公開 (ライブ配信)

**全体会 令和3年
11月4日(木)
14:00~16:30**

「技」分科会 10月21日(木) 14:00~15:30
「風土」分科会 10月25日(月) 10:00~12:00
「住」分科会 10月27日(水) 14:00~15:30

申込不要 どなたでも自由にご視聴いただけます

◆全体会（パネルディスカッション）



◆全体会（サミット宣言）



◆「技」分科会



◆「風土」分科会



◆「住」分科会



◆＜関連事業＞住民セッション



東三河地域

◆中日新聞（愛知）2021年11月5日（金）

◆東日新聞 2021年11月5日（金）

三遠南信で協力して コロナ禍から回復を

豊橋 連携強化でサミット

三遠南信地域の連携を深めるため、豊橋市西小田原町の穂の國とよはし芸術劇場プラット（プラット）で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が東三河一帯で開かれた。パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受けている地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアール

三遠南信地域の連携を深めるため、豊橋市西小田原町の穂の國とよはし芸術劇場プラット（プラット）で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が東三河一帯で開かれた。パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受けている地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアール

三遠南信地域の連携を深めるため、豊橋市西小田原町の穂の國とよはし芸術劇場プラット（プラット）で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が東三河一帯で開かれた。パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受けている地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアール

コロナ後 どう高付加価値化

三遠南信サミット オンラインで議論

東三河と蒲州（静岡）の両市、西河川（北野町）の両市、三遠南信地域の連携を深めるため、豊橋市駅前大通の穂の國とよはし芸術劇場プラット（プラット）で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が東三河一帯で開かれた。パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受けている地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアール

三遠南信地域の連携を深めるため、豊橋市西小田原町の穂の國とよはし芸術劇場プラット（プラット）で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が東三河一帯で開かれた。パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受けている地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアール

◆東愛知新聞 2021年11月5日（金）

コロナ後の移住や観光促進

発信力強化が課題 豊橋で三遠南信サミット オンラインで配信

「第29回三遠南信サミット」が4日、豊橋市西小田原町の「穂の國とよはし芸術劇場プラット」で開かれた。新型コロナウイルス禍のため会議の様態をオンラインで配信。移住や観光など「アフターコロナ」を見据えた付加価値を高める取り組みなどで意見を交わした。

【加藤広宣】

三遠南信地域の連携を深めるため、豊橋市西小田原町の穂の國とよはし芸術劇場プラット（プラット）で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が東三河一帯で開かれた。パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受けている地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアール

三遠南信地域の連携を深めるため、豊橋市西小田原町の穂の國とよはし芸術劇場プラット（プラット）で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が東三河一帯で開かれた。パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受けている地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアール

◆静岡新聞 2021年11月5日(金)



大分県庁を訪問した鈴木康友静岡市長（右から3人目）ら出席者
＝4日午後、静岡市

「地方分散の受け皿に」

圏域一体で移住促進

静岡、愛知、三重の3県、長手の手放さず、移住可能な地域の実現に向けて取り組むことと確認した。

主催した三遠圏圏域推進機構（三遠圏推進会議）の鈴木康友静岡市長はあいさつで、コロナ禍で東京一極集中が見直され、都市部から企業や人を呼び込むチャンスだと指摘。三遠圏は、自然は豊かで産業も集積している。ポテンシャルは高く、魅力を出して（都市部の）受け皿になれるようにしていきたい」と話した。

移住をテーマにしたパネル討論もあった。浜松移住コーディネーターの井上紗由美さんは、浜松への移住について「田舎に住みながら通勤できる地の利の良さが強み」と説明。「コロナ禍で多岐にわたるニーズが高まり、建設は地方に住み、会議などがあれば都市部に行く」とも発言している」と明かした。（坂本圭祐）

静岡、愛知、三重の3県、長手の手放さず、移住可能な地域の実現に向けて取り組むことと確認した。

主催した三遠圏圏域推進機構（三遠圏推進会議）の鈴木康友静岡市長はあいさつで、コロナ禍で東京一極集中が見直され、都市部から企業や人を呼び込むチャンスだと指摘。三遠圏は、自然は豊かで産業も集積している。ポテンシャルは高く、魅力を出して（都市部の）受け皿になれるようにしていきたい」と話した。

移住をテーマにしたパネル討論もあった。浜松移住コーディネーターの井上紗由美さんは、浜松への移住について「田舎に住みながら通勤できる地の利の良さが強み」と説明。「コロナ禍で多岐にわたるニーズが高まり、建設は地方に住み、会議などがあれば都市部に行く」とも発言している」と明かした。（坂本圭祐）

◆中日新聞(静岡) 2021年11月5日(金)

浜松湖西豊橋道 早期に

三遠圏移住サミット提言へ「移住」討論も

三遠圏移住サミット提言へ「移住」討論も

静岡、愛知、三重の3県、長手の手放さず、移住可能な地域の実現に向けて取り組むことと確認した。

主催した三遠圏圏域推進機構（三遠圏推進会議）の鈴木康友静岡市長はあいさつで、コロナ禍で東京一極集中が見直され、都市部から企業や人を呼び込むチャンスだと指摘。三遠圏は、自然は豊かで産業も集積している。ポテンシャルは高く、魅力を出して（都市部の）受け皿になれるようにしていきたい」と話した。

移住をテーマにしたパネル討論もあった。浜松移住コーディネーターの井上紗由美さんは、浜松への移住について「田舎に住みながら通勤できる地の利の良さが強み」と説明。「コロナ禍で多岐にわたるニーズが高まり、建設は地方に住み、会議などがあれば都市部に行く」とも発言している」と明かした。（坂本圭祐）

ル討論もあった。浜松移住コーディネーターの井上紗由美さんは、浜松への移住について「田舎に住みながら通勤できる地の利の良さが強み」と説明。「コロナ禍で多岐にわたるニーズが高まり、建設は地方に住み、会議などがあれば都市部に行く」とも発言している」と明かした。（坂本圭祐）

三遠圏圏域推進機構の鈴木康友静岡市長はあいさつで、コロナ禍で東京一極集中が見直され、都市部から企業や人を呼び込むチャンスだと指摘。三遠圏は、自然は豊かで産業も集積している。ポテンシャルは高く、魅力を出して（都市部の）受け皿になれるようにしていきたい」と話した。

移住をテーマにしたパネル討論もあった。浜松移住コーディネーターの井上紗由美さんは、浜松への移住について「田舎に住みながら通勤できる地の利の良さが強み」と説明。「コロナ禍で多岐にわたるニーズが高まり、建設は地方に住み、会議などがあれば都市部に行く」とも発言している」と明かした。（坂本圭祐）

南信州地域

◆南信州新聞 2021年11月5日(金)

力合わせ潜在力向上を

三遠南信 サミット 豊橋会場にハイブリッド開催

三遠南信地域の連携を深めるため、愛知県豊橋市西小田原町の穂の田とよはし芸術劇場P.L.A.T.(プラット)で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が、パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受ける地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアイクリッシュ豊橋で「三遠南信地域市町村議会議長協議会総会」と「三遠南信、浜松二ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会総会」もあつた。

議長協議会総会には二十四市町村議長が出席。東三河地域研究センターの高橋大輔さんが「港湾などのインフラ整備を活かした三遠南信地域の活性化に向けて」と題して講演した。農作物の海外輸出に向けて、

現地のスーパーなどで試食販売している実例や、古民家を丸ごと海外に輸出する事例を紹介。「産業集積地であるメリットを生かし、三遠南信自動車道や三河港、御前崎港などのインフラを整備することで、地域一体となって農作物や林産品の輸出プロジェクトなどを進められる」と提言した。

三遠南信地域の連携を深めるため、愛知県豊橋市西小田原町の穂の田とよはし芸術劇場P.L.A.T.(プラット)で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が、パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受ける地域に人を呼び込むための方策を議論した。

三遠南信地域の連携を深めるため、愛知県豊橋市西小田原町の穂の田とよはし芸術劇場P.L.A.T.(プラット)で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が、パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受ける地域に人を呼び込むための方策を議論した。

◆中日新聞(信州) 2021年11月5日(金)

三遠南信地域の活性化向け議論

豊橋で「サミット」

三遠南信地域の連携を深めるため、愛知県豊橋市西小田原町の穂の田とよはし芸術劇場P.L.A.T.(プラット)で四日、「第二十九回 三遠南信サミット2021」が、パネルディスカッションなどで、コロナ禍でダメージを受ける地域に人を呼び込むための方策を議論した。

これに先立ち、同日、豊橋市駅前大通のホテルアイクリッシュ豊橋で「三遠南信地域市町村議会議長協議会総会」と「三遠南信、浜松二ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会総会」もあつた。

議長協議会総会には二十四市町村議長が出席。東三河地域研究センターの高橋大輔さんが「港湾などのインフラ整備を活かした三遠南信地域の活性化に向けて」と題して講演した。農作物の海外輸出に向けて、

現地のスーパーなどで試食販売している実例や、古民家を丸ごと海外に輸出する事例を紹介。「産業集積地であるメリットを生かし、三遠南信自動車道や三河港、御前崎港などのインフラを整備することで、地域一体となって農作物や林産品の輸出プロジェクトなどを進められる」と提言した。

◆信濃毎日新聞 2021年11月5日(金)

大都市からの移住 受け皿づくり議論

三遠南信サミット

三遠南信地域(飯田下伊那など県南部、愛知県東部、静岡県西部)の連携を考える第29回三遠南信サミットが4日、愛知県豊橋市を主会場に開かれた。新型コロナウイルスで大都市から地方への移住が増える中、どう受け皿づくりを進めるかをテーマに議論。感染防止で密を避けるため、オンライン配信もした。

三遠南信にUターンした4人がパネル討論に参加。埼玉県出身で、2020年に飯田市龍江に移住した地域おこし協力隊員の佃賢次さん(45)は「地域の空き家を移住者がすぐ使えるようにするには、地元の人々の理解を得る必要がある」と強調。移住者を増やそうと努力する三遠南信の人たちが協力を共有する場が必要とも指摘した。

東京から生まれ故郷の浜松市にUターンし、同市の移住コーディネーターを務める井上紗由美さんは「浜松から愛知や長野の温泉に行くこともできる。お互いが持っている資源を共有してアピールすることが大事」と訴えた。

1. 第 29 回三遠南信サミット 2021 in 東三河 特設サイト

<https://www.sena-vision.jp/sena/summit/no29.html>

2. 全体会

<https://youtu.be/TgZYqwsqOb8>

3. 分科会

- (1) 「技」分科会

<https://youtu.be/O3wbS0OjxYA>

- (2) 「風土」分科会

<https://youtu.be/veJi8se90QA>

- (3) 「住」分科会

https://youtu.be/FzP_Fmi5Gus

4. 住民セッション

<https://youtu.be/6d9lZCyoqzQ>